

平成28年度活動実績 平成29年度事業計画 活動内容及び成果資料

三和地域協議会 活動内容			夜久野みらいまちづくり協議会 活動内容			大江まちづくり住民協議会 活動内容		
	平成28年度活動実績	平成29年度活動方向		平成28年度活動実績	平成29年度活動方向		平成28年度活動実績	平成29年度活動方向
地域活力部会	○ みわふれあいカフェの実施	○ ふれあいカフェ実施(継続)	経済活性化部会	○ 「夜久野おもてなし夢プラン」の検討	○ 部会員が6チームに分かれて推進	農業・観光・地域経済活性化部会	○ 観光を中心とした企画協力(丹後くろまつ企画列車)	○ 耕作放棄地の利活用
	○ 三和音頭の復活と普及	○ 三和音頭の復活と普及(継続)		○ お試し住宅、遊休施設活用、特産品(漆、三桎、特用樹林)等の検討	○ (1)ハード分野(2)特産分野(3)観光分野(4)イベント交流分野(5)林業分野(6)就業分野		○ 鬼力の由良川夏祭り支援協力	○ 鬼伝説を主役とする観光コースの開発
	○ こどもまつりの開催(新規事業)(半日開催、親子350人参加)	○ こどもまつりの開催(継続)(半日開催、親子500人参加)	定住交流促進部会	○ 空き家バンク登録奨励	○ 部会員が3チームに分かれて推進		○ 酒吞童子祭り支援協力	○ 地域特産物・みやげもののカタログ作成
生活基盤部会	○ 講演会及び交流会の開催	○ 講演会及び交流会の開催(継続)		○ 空き家調査及び持ち主への意向調査	○ (1)情報・調査チーム (2)広報チーム (3)交流チーム	定住交流拡大部会	○ 先進地視察の開催	○ 地域イベントの支援協力
	○ 市バス路線の見直しと有償運送の検討	○ 有償運送の実施準備(新規)	教育・文化スポーツ部会	○ 移住者との懇談会開催	○ 空き家の調査を実施		○ 移住定住に関するブースの設置や広報	○ Uターン広場・定住促進住宅の広報
定住促進・情報発信部会	○ 自治会活動の支援	○ 自治会活動の支援(継続)		○ 移住・定住者相談窓口の開設		教育・文化スポーツ交流部会	○ ふるさと帰省促進キャンペーン	○ 地域外からの来訪者との交流促進
		○ 小規模自治会への支援(新規)	福祉・あんしん部会	○ あいさつ先手運動	○ 各地域の伝統文化、名所を調べる		○ 移住定住に関するブースの設置や広報	○ Uターン広場・定住促進住宅の広報
学校統合問題検討特別部会	○ 移住者交流会の開催	○ 移住者交流会の開催(継続)		○ 夜久野学園生徒による行政無線での放送等	○ 伝統文化を記録として保存する	安心・安全環境拡充部会	○ 鬼の絵コンテストの開催	○ 鬼の絵コンテストの開催
	○ 京都移住コンシェルジュとの協働	○ 移住、定住希望者支援	福祉・あんしん部会	○ 伝統文化の継承			○ 住民協議会啓発カレンダー作成	○ 堤防ウォーキングの開催
学校統合問題検討特別部会	○ 移住者の受け入れ態勢の確立(空き家調査)	○ SNSによる情報発信(継続)		○ 額田踊りの復活、各地域での調査		安心・安全環境拡充部会	○ 紙芝居&むかし遊びの開催	○ 由良川へのカヌー教室の誘致
	○ SNSによる情報発信	○ 移住促進特別区域(三和町全域)指定への取り組み	全体	○ ふくしあん新聞の発行	○ 2つのプロジェクトで活動する		○ 蘭の手芸教室やむかし遊びの開催	○ 蘭の手芸教室やむかし遊びの開催
学校統合問題検討特別部会	○ 市との意見交換、連携の緊密化	○ 工業団地進出企業との交流促進(新規)		○ ボランティア「支え合い事業」の検討	○ (1)プロジェクト愛 (2)何でも防ぎ隊	安心・安全環境拡充部会	○ 公共交通のあり方研修研究	○ 持続可能な地域交通のあり方検討
			全体	○ 住民への困りごとアンケート実施	○ プロジェクト愛では、「ささえあい事業」の実施に向けた調査研究		○ 大江防災とまちづくりシンポジウム開催	○ 公共交通利用促進キャンペーンの開催
学校統合問題検討特別部会	○ 特別部会の設置(新規)			○ 地域のヒヤリハットマップ作成		全体	○ 応急手当講習会の開催	○ AED設置場所の調査と広報
	○ 統合説明会の開催((複数開催)		全体	○ 福知山市公立大学連携(フィールドワーク受入)	○ 福知山市公立大学との連携ホームページ作成、フィールドワーク受入		○ ヤギによる堤防除草試験	○ ヤギによる堤防除草試験
学校統合問題検討特別部会	○ 小中一貫校の要望の取りまとめ			○ 夜久野まちづくり講演会の開催(6月総会時)	○ 夜久野みらいを語る集いの開催 12月9日(土)午後から	全体	○ 由良川手長エビお増殖研究	○ 由良川手長エビお増殖研究
			全体	○ ファシリティー養成講座の開催(11月)	○ ファシリティー養成講座の開催 11月25日(土)午前9時		○ まちづくり振興大会の開催	○ まちづくり振興大会の開催
学校統合問題検討特別部会				○ 夜久野のみらいを語る集いの開催(12月)	○ まちづくり振興大会(活動のまとめ)翌2月18日(日)午後から	全体		
				○ まちづくり振興大会(2月)	○ MMC通信の発行			
学校統合問題検討特別部会				○ MMCやくの通信の発行(10月・12月・2月)		全体		
						全体		
成果	○ 学校統合の特別部会を設置し、協議を重ね、小中一貫校への要望の取りまとめを行った。		成果	○ 自分たちのまちに危機感を抱く住民による、住民主体の組織を立ち上げることができた。		成果	○ 設立当初においては、まち協は何をするのかと言う意見もあったが、事業を重ねていくことにより、まちづくりは自ら考えなければとの意識が徐々に浸透し始めている。	
	○ 地域の持続発展に必要な課題(公共交通の存続・充実)の調査研究に取り組んだ。			○ 4つの部会を中心に活動しており、定例化することができた。団体間の横の連携がとれる、自ら地域に出ていくといった積極性も出てきた。			○ まち協事務局が常設されていることにより、今後、そこを拠点とした地域づくり団体など各種団体の連携や窓口の役割の基盤ができた。	
課題	○ 小中学校統合に向けた準備組織への参画における意見集約及び各種取り組み。		課題	○ 夜久野支所や自治会等との間で、事業のすみ分けが十分できていないため、活動が十分理解されているとは言い難い。		課題	○ 事業の開催に取り組むものの、主目的である地域課題の絞り込みと課題解決に向けた活動は弱い。できることからの積み重ねを行い、目的達成をめざしていく必要がある。	
	○ 「公共交通空白地有償運送事業」の実施における住民への周知、新たな交通システムの確立等。						○ 過疎・高齢化のなか、人材の育成も困難を伴い、行政の支援が不可欠な状況がすぐに解消できる状況にない。部会員の増強など組織強化が必要である。	